

とうきょうすくわくプログラム活動報告書（幼児）

テーマ：自然に触れ、造形を楽しむ

1. 土ねんど遊び

専門の講師をお呼びし、「島を作る」という大きなテーマのもと、ベースとなる島作りのほかに友だちと島同士を繋げたり、島の周辺や装飾など友だちと意見を出し合い自由に表現しました。テーマだけに縛られず自由な発想を行えるよう保育者からは違う角度からの提案をし、表現の幅を広げられるようにしました。



2. 森のつみ木広場

つみき遊びを通して木の香りやぬくもりなど、普段感じる機会の少ない自然を感じる機会を提供し、日本の森のことを伝える環境教育を行っている「森のつみ木広場」さんをお招きし、木の香りや肌触りを感じ、全身につみ木をかけて五感で木の良さを味わいました。また3種類のつみ木を数に制限なく使い、自由に作品づくりを行うことで表現を楽しみ、完成毎に全員に作品紹介をしました。



3. 豆皿製作

個人製作とはなりましたが、お皿を作る上で良いアイデアなど積極的に共有し、友だち同士がお互いにアドバイスしやすい雰囲気づくりをしました。また、形だけでなく模様など自由につけられるよう竹ぐしやスタンプを選べるようにして、形に残るものを試行錯誤しながら作りあげました。



振り返り

つみ木の成り立ちや、ねんどから陶芸作品が出来上がる過程など、普段の保育の中では触れない部分を掘り下げることができ、子どもたちだけでなく、保育者の学びにも繋がりました。日常保育の製作では完成形が決まっている物が多いので、自由に表現したものが形として残るという経験ができたのが良く、今後の保育に活かしたいと考えます。

また、この活動内での興味を次の活動に繋げて進めていけたことで、子ども自身が進んで考えを共有し、友だちの意見や作品を認め合う姿が良くみられるようになりました。